

No.38 病院（最上地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	317	173	144	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	4	3	1	1%	2%	1%
II 新生物	12	8	4	4%	5%	3%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	2	2	—	1%	1%	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	20	9	11	6%	5%	8%
V 精神及び行動の障害	4	2	2	1%	1%	1%
VI 神経系の疾患	15	8	7	5%	5%	5%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1	—	1	0%	—	1%
IX 循環器系の疾患	108	70	38	34%	40%	26%
X 呼吸器系の疾患	29	14	15	9%	8%	10%
X I 消化器系の疾患	37	14	23	12%	8%	16%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3	3	—	1%	2%	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	39	13	26	12%	8%	18%
X IV 尿路性器系の疾患	10	9	1	3%	5%	1%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	1	—	0%	1%	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	5	2	3	2%	1%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	24	15	9	8%	9%	6%
X X 保健サービスの利用	3	—	3	1%	—	2%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	11	8	3	3%	5%	2%
II 糖尿病	14	6	8	4%	3%	6%
III 虚血性心疾患	13	9	4	4%	5%	3%
IV 脳血管疾患	64	51	13	20%	29%	9%
V 周産期	1	1	—	0%	1%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.38 病院の患者総数は 317 名であり、そのうち入院患者は 173 名、外来患者は 144 名であった。No.38 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 108 名(34%)であった。そのうち、入院患者は 70 名(40%)、外来患者が 38 名(26%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 60 名(19%)、入院患者が 48 名(28%)、外来患者が 12 名(8%)であった。

次に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 39 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 13 名(8%)、外来患者が 26 名(18%)であった。具体的には脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、患者総数が 12 名(4%)、入院患者が 5 名(3%)、外来患者が 7 名(5%)であった。

三番目に患者数が多いのは消化器系の疾患であり、患者総数は 37 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 14 名(8%)、外来患者が 23 名(16%)であった。具体的には胃炎及び十二指腸炎の患者が多く、患者総数が 7 名(2%)、入院患者が 1 名(1%)、外来患者が 6 名(4%)であった。その他には、歯肉炎及び歯周疾患の患者も多かった。

No.39 病院（最上地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	265	56	209	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	3	—	3	1%	—	1%
II 新生物	8	1	7	3%	2%	3%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	3	1	2	1%	2%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16	—	16	6%	—	8%
V 精神及び行動の障害	2	1	1	1%	2%	0%
VI 神経系の疾患	2	2	—	1%	4%	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	86	12	74	32%	21%	35%
X 呼吸器系の疾患	23	11	12	9%	20%	6%
X I 消化器系の疾患	21	5	16	8%	9%	8%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	8	—	8	3%	—	4%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	42	6	36	16%	11%	17%
X IV 尿路性器系の疾患	1	—	1	0%	—	0%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	2	—	2	1%	—	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	6	3	3	2%	5%	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	39	14	25	15%	25%	12%
X X 保健サービスの利用	3	—	3	1%	—	1%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	7	1	6	3%	2%	3%
II 糖尿病	8	—	8	3%	—	4%
III 虚血性心疾患	4	1	3	2%	2%	1%
IV 脳血管疾患	30	8	22	11%	14%	11%
V 周産期	2	—	2	1%	—	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.39 病院の患者総数は 265 名であり、そのうち入院患者は 56 名、外来患者は 209 名であった。No.39 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 86 名(32%)であった。そのうち、入院患者は 12 名(21%)、外来患者が 74 名(35%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、患者総数が 46 名(17%)、入院患者が 1 名(2%)、外来患者が 45 名(22%)であった。

次に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 42 名(16%)であった。そのうち、入院患者は 6 名(11%)、外来患者が 36 名(17%)であった。具体的には関節症の患者が多く、患者総数が 9 名(3%)、入院患者が 3 名(5%)、外来患者が 6 名(3%)であった。その他には、脊椎障害(脊椎症を含む)の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは損傷、中毒及びその他の外因の影響であり、患者総数は 39 名(15%)であった。そのうち、入院患者は 14 名(25%)、外来患者が 25 名(12%)であった。具体的にはその他の四肢の骨折の患者が多く、患者総数が 13 名(5%)、入院患者が 10 名(18%)、外来患者が 3 名(1%)であった。その他には、その他の明示された部位、部位不明及び多部位の損傷の患者も多かった。

No.40 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	232	59	173	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	5	2	3	2%	3%	2%
II 新生物	19	8	11	8%	14%	6%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	4	3	1	2%	5%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	19	3	16	8%	5%	9%
V 精神及び行動の障害	2	—	2	1%	—	1%
VI 神経系の疾患	6	1	5	3%	2%	3%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	75	11	64	32%	19%	37%
X 呼吸器系の疾患	48	17	31	21%	29%	18%
X I 消化器系の疾患	10	2	8	4%	3%	5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1	1	—	0%	2%	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	17	—	17	7%	—	10%
X IV 尿路性器系の疾患	4	3	1	2%	5%	1%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	—	1	0%	—	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	2	2	—	1%	3%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	18	6	12	8%	10%	7%
X X 保健サービスの利用	1	—	1	0%	—	1%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	12	7	5	5%	12%	3%
II 糖尿病	11	2	9	5%	3%	5%
III 虚血性心疾患	2	1	1	1%	2%	1%
IV 脳血管疾患	26	10	16	11%	17%	9%
V 周産期	1	—	1	0%	—	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.40 病院の患者総数は 232 名であり、そのうち入院患者は 59 名、外来患者は 173 名であった。No.40 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 75 名(32%)であった。そのうち、入院患者は 11 名(19%)、外来患者が 64 名(37%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 36 名(21%)であった。

次に患者数が多いのは呼吸器系の疾患であり、患者総数は 48 名(21%)であった。そのうち、入院患者は 17 名(29%)、外来患者が 31 名(18%)であった。具体的には慢性閉塞性肺疾患の患者が多く、患者総数が 15 名(6%)、入院患者が 2 名(3%)、外来患者が 13 名(8%)であった。その他には、喘息の患者も多かった。

No.41 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	205	186	19	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	3	2	1	1%	1%	5%
II 新生物	2	2	—	1%	1%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	1	1	—	0%	1%	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8	7	1	4%	4%	5%
V 精神及び行動の障害	7	6	1	3%	3%	5%
VI 神経系の疾患	125	122	3	61%	66%	16%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	31	24	7	15%	13%	37%
X 呼吸器系の疾患	3	3	—	1%	2%	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	6	2	4	3%	1%	21%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	2	2	—	1%	1%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	10	10	—	5%	5%	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	—	1	0%	—	5%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6	5	1	3%	3%	5%
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	2	2	—	1%	1%	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	24	23	1	12%	12%	5%
V 周産期	12	12	—	6%	6%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.41 病院の患者総数は 205 名であり、そのうち入院患者は 186 名、外来患者は 19 名であった。No.41 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 125 名(61%)であった。そのうち、入院患者は 122 名(66%)、外来患者が 3 名(16%)であった。具体的には脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群の患者が多く、入院患者が 78 名(42%)であった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 31 名(15%)であった。そのうち、入院患者は 24 名(13%)、外来患者が 7 名(37%)であった。具体的には脳内出血の患者が多く、入院患者が 11 名(6%)であった。その他には、脳梗塞の患者も多かった。

No.42 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,399	397	1,002	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	42	9	33	3%	2%	3%
II 新生物	139	52	87	10%	13%	9%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	11	3	8	1%	1%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	97	9	88	7%	2%	9%
V 精神及び行動の障害	158	66	92	11%	17%	9%
VI 神経系の疾患	49	12	37	4%	3%	4%
VII 眼及び付属器の疾患	67	9	58	5%	2%	6%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	8	—	8	1%	—	1%
IX 循環器系の疾患	131	59	72	9%	15%	7%
X 呼吸器系の疾患	137	35	102	10%	9%	10%
X I 消化器系の疾患	66	34	32	5%	9%	3%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	20	3	17	1%	1%	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	138	19	119	10%	5%	12%
X IV 尿路性器系の疾患	114	26	88	8%	7%	9%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	25	20	5	2%	5%	0%
X VI 周産期に発生した病態	3	3	—	0%	1%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	10	1	9	1%	0%	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	25	4	21	2%	1%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	107	33	74	8%	8%	7%
X X 保健サービスの利用	52	—	52	4%	—	5%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	101	44	57	7%	11%	6%
II 糖尿病	65	7	58	5%	2%	6%
III 虚血性心疾患	25	8	17	2%	2%	2%
IV 脳血管疾患	41	27	14	3%	7%	1%
V 周産期	38	24	14	3%	6%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.42 病院の患者総数は 1,399 名であり、そのうち入院患者は 397 名、外来患者は 1,002 名であった。No.42 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 158 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 66 名(17%)、外来患者が 92 名(9%)であった。具体的には統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 67 名(5%)、入院患者が 34 名(9%)、外来患者が 33 名(3%)であった。その他には、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の患者も多かった。

次に患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 139 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 52 名(13%)、外来患者が 87 名(9%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 23 名(2%)、入院患者が 10 名(3%)、外来患者が 13 名(1%)であった。その他には、の患者も多かった。その他には、その他の新生物の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 138 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 19 名(5%)、外来患者が 119 名(12%)であった。具体的には脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、患者総数が 30 名(2%)、入院患者が 4 名(1%)、外来患者が 26 名(3%)であった。その他には、関節症の患者も多かった。

No.43 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	577	173	404	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	17	1	16	3%	1%	4%
II 新生物	100	43	57	17%	25%	14%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	2	—	2	0%	—	0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	29	8	21	5%	5%	5%
V 精神及び行動の障害	4	4	—	1%	2%	—
VI 神経系の疾患	15	7	8	3%	4%	2%
VII 眼及び付属器の疾患	36	3	33	6%	2%	8%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1	1	—	0%	1%	—
IX 循環器系の疾患	72	21	51	12%	12%	13%
X 呼吸器系の疾患	29	19	10	5%	11%	2%
X I 消化器系の疾患	53	17	36	9%	10%	9%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	5	2	3	1%	1%	1%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	59	10	49	10%	6%	12%
X IV 尿路性器系の疾患	59	11	48	10%	6%	12%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	1	—	0%	1%	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	11	5	6	2%	3%	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	49	20	29	8%	12%	7%
X X 保健サービスの利用	35	—	35	6%	—	9%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	87	37	50	15%	21%	12%
II 糖尿病	25	4	21	4%	2%	5%
III 虚血性心疾患	1	—	1	0%	—	0%
IV 脳血管疾患	35	13	22	6%	8%	5%
V 周産期	1	1	—	0%	1%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.43 病院の患者総数は 577 名であり、そのうち入院患者は 173 名、外来患者は 404 名であった。No.43 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 100 名(17%)であった。そのうち、入院患者は 43 名(25%)、外来患者が 57 名(14%)であった。具体的には乳房の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 22 名(4%)、入院患者が 2 名(1%)、外来患者が 20 名(5%)であった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 72 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 21 名(12%)、外来患者が 51 名(13%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 28 名(5%)、入院患者が 9 名(5%)、外来患者が 19 名(5%)であった。その他には、本態性(原発性)高血圧(症)の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは尿路性器系の疾患であり、患者総数は 59 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 11 名(6%)、外来患者が 48 名(12%)であった。具体的には慢性腎不全の患者が多く、患者総数が 27 名(5%)、入院患者が 7 名(4%)、外来患者が 20 名(5%)であった。

No.44 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	445	169	276	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	10	1	9	2%	1%	3%
II 新生物	17	12	5	4%	7%	2%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	1	—	1	0%	—	0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16	2	14	4%	1%	5%
V 精神及び行動の障害	5	5	—	1%	3%	—
VI 神経系の疾患	8	4	4	2%	2%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	9	1	8	2%	1%	3%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	135	73	62	30%	43%	22%
X 呼吸器系の疾患	72	16	56	16%	9%	20%
X I 消化器系の疾患	29	15	14	7%	9%	5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	7	1	6	2%	1%	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	86	19	67	19%	11%	24%
X IV 尿路性器系の疾患	10	6	4	2%	4%	1%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	3	—	3	1%	—	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	29	14	15	7%	8%	5%
X X 保健サービスの利用	8	—	8	2%	—	3%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	14	10	4	3%	6%	1%
II 糖尿病	6	2	4	1%	1%	1%
III 虚血性心疾患	15	2	13	3%	1%	5%
IV 脳血管疾患	66	56	10	15%	33%	4%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.44 病院の患者総数は 445 名であり、そのうち入院患者は 169 名、外来患者は 276 名であった。No.44 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 135 名(30%)であった。そのうち、入院患者は 73 名(43%)、外来患者が 62 名(22%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 53 名(12%)、入院患者が 44 名(26%)、外来患者が 9 名(3%)であった。その他には、本態性(原発性)高血圧(症)の患者も多かった。

次に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 86 名(19%)であった。そのうち、入院患者は 19 名(11%)、外来患者が 67 名(24%)であった。具体的には脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、患者総数が 22 名(5%)、入院患者が 7 名(4%)、外来患者が 15 名(5%)であった。その他には、関節症、椎間板障害、骨粗しょう症の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは呼吸器系の疾患であり、患者総数は 72 名(16%)であった。そのうち、入院患者は 16 名(9%)、外来患者が 56 名(20%)であった。具体的には喘息の患者が多く、患者総数が 37 名(8%)、入院患者が 3 名(2%)、外来患者が 34 名(12%)であった。

No.45 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	313	106	207	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	6	3	3	2%	3%	1%
II 新生物	38	18	20	12%	17%	10%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	3	—	3	1%	—	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	53	5	48	17%	5%	23%
V 精神及び行動の障害	6	4	2	2%	4%	1%
VI 神経系の疾患	8	5	3	3%	5%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	70	27	43	22%	25%	21%
X 呼吸器系の疾患	27	13	14	9%	12%	7%
X I 消化器系の疾患	23	15	8	7%	14%	4%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	6	5	1	2%	5%	0%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5	1	4	2%	1%	2%
X IV 尿路性器系の疾患	31	4	27	10%	4%	13%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	3	1	2	1%	1%	1%
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	1	—	0%	1%	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	7	3	4	2%	3%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	12	1	11	4%	1%	5%
X X 保健サービスの利用	14	—	14	4%	—	7%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	32	15	17	10%	14%	8%
II 糖尿病	41	3	38	13%	3%	18%
III 虚血性心疾患	5	3	2	2%	3%	1%
IV 脳血管疾患	23	17	6	7%	16%	3%
V 周産期	4	2	2	1%	2%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.45 病院の患者総数は313名であり、そのうち入院患者は106名、外来患者は207名であった。No.45 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は70名(22%)であった。そのうち、入院患者は27名(25%)、外来患者が43名(21%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が30名(14%)であった。

次に患者数が多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患であり、患者総数は53名(17%)であった。そのうち、入院患者は5名(5%)、外来患者が48名(23%)であった。具体的にはインスリン非依存性糖尿病の患者が多く、患者総数が39名(12%)、入院患者が3名(3%)、外来患者が36名(17%)であった。

三番目に患者数が多いのは新生物であり、患者総数は38名(12%)であった。そのうち、入院患者は18名(17%)、外来患者が20名(10%)であった。具体的には結腸の悪性新生物の患者が多く、患者総数が7名(2%)、入院患者が2名(2%)、外来患者が5名(2%)であった。その他には、胃の悪性新生物、非ホジキンリンパ腫、その他の新生物の患者も多かった。

No.46 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	109	93	16	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	1	1	—	1%	1%	—
II 新生物	1	1	—	1%	1%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2	1	1	2%	1%	6%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	3	1	2	3%	1%	13%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	82	70	12	75%	75%	75%
X 呼吸器系の疾患	1	1	—	1%	1%	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	8	7	1	7%	8%	6%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11	11	—	10%	12%	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	1	1	—	1%	1%	—
II 糖尿病	1	—	1	1%	—	6%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	82	70	12	75%	75%	75%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.46 病院の患者総数は 109 名であり、そのうち入院患者は 93 名、外来患者は 16 名であった。No.46 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 82 名(75%)であった。そのうち、入院患者は 70 名(75%)、外来患者が 12 名(75%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 51 名(47%)、入院患者が 45 名(48%)、外来患者が 6 名(38%)であった。その他には、脳内出血の患者も多かった。

次に患者数が多いのは損傷、中毒及びその他の外因の影響であり、入院患者は 11 名(12%)であった。具体的にはその他の明示された部位、部位不明及び多部位の損傷の患者が多く、入院患者が 4 名(4%)であった。

No.47 病院（置賜地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	217	46	171	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	6	1	5	3%	2%	3%
II 新生物	19	4	15	9%	9%	9%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	4	1	3	2%	2%	2%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	25	3	22	12%	7%	13%
V 精神及び行動の障害	1	1	—	0%	2%	—
VI 神経系の疾患	5	3	2	2%	7%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	63	3	60	29%	7%	35%
X 呼吸器系の疾患	21	9	12	10%	20%	7%
X I 消化器系の疾患	11	3	8	5%	7%	5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	6	1	5	3%	2%	3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	23	2	21	11%	4%	12%
X IV 尿路性器系の疾患	9	3	6	4%	7%	4%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	1	1	—	0%	2%	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	5	2	3	2%	4%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	16	9	7	7%	20%	4%
X X 保健サービスの利用	2	—	2	1%	—	1%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	11	2	9	5%	4%	5%
II 糖尿病	13	1	12	6%	2%	7%
III 虚血性心疾患	8	—	8	4%	—	5%
IV 脳血管疾患	10	3	7	5%	7%	4%
V 周産期	1	1	—	0%	2%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.47 病院の患者総数は 217 名であり、そのうち入院患者は 46 名、外来患者は 171 名であった。No.47 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 63 名(29%)であった。そのうち、入院患者は 3 名(7%)、外来患者が 60 名(35%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 30 名(18%)であった。

次に患者数が多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患であり、患者総数は 25 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 3 名(7%)、外来患者が 22 名(13%)であった。具体的にはインスリン非依存性糖尿病の患者が多く、患者総数が 12 名(6%)、入院患者が 1 名(2%)、外来患者が 11 名(6%)であった。

三番目に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 23 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 2 名(4%)、外来患者が 21 名(12%)であった。具体的には骨粗しょう症の患者が多く、外来患者が 6 名(4%)であった。その他には、脊椎障害(脊椎症を含む)の患者も多かった。